

中央構造線フィールドワーク

8月10日、三重大生物資源学部の坂本先生と皇學館大学の近藤玲介先生による中央構造線のフィールドワークを実施しました。まず伊勢高校通学路の露頭を観察し、伊勢市二見町の海岸、多気郡多気町丹生の露頭と水銀鉱山跡、松阪市飯南町粥見の赤滝の河川敷の鉱物や露頭の観察などを行った。中央構造線の観察、鉱山の様子などを学び、実際に見て、触れることによって理解を深めていました。



(生徒の感想)

- ・伊勢高は最も中央構造線に近い高校と聞き興奮しました。
- ・丹生露頭では水銀によって赤くなっている岩石や錆によって黄色くなっている岩石がみられてとても面白かったです。
- ・地学に興味を持った。ある事柄一つでその土地の様々なことがわかることに驚いた。
- ・石は風化することを知った。石を削る作業が難しかった。
- ・何億年も前のプレートの動きを考え中央構造線を観察し知識を得るうちに、そのスケールの大きさを実感し、非常に良い体験になったと思います。